

# 勉強、西高祭、部活動…、 知ってほしい西高の あんなことやこんなこと!

「西高ってどんな学校?もっと知りたい!」

そんなキミたちは必見!!

在校生が西高のあれこれ、教えちゃいます!

これを読めば西高に通いたくなること間違いなし!

在校生  
座談会  
大好き! 西高2017!!

門脇 亮平君  
(カドワキリョウヘイ)  
3年8組  
(伏見中学出身)  
野球部部长

紙谷 咲彩さん  
(カミタニサキアヤ)  
2年7組  
(琴似中学出身)  
現生徒会長

土屋 花さん  
(ツチヤハナ)  
3年2組  
(浦河第一中学出身)  
バレー部部长

大谷 舜君  
(オオタニシユン)  
3年7組  
(真駒内囀中学出身)  
高校生アジアの栄誉賞受賞者・  
道産子高校生ロサンゼルス  
ホームステイプログラム参加

## あなたにとって、 西高の良さと言えば、 どんなところですか？

大谷:僕は、短期留学や海外研修など、海外に行くチャンスがたくさんあるところが西高の良さだと思います。他の学校ではないことだと思うね。毎年、何十もの募集が学校に来て、僕は2年間で2回ものチャンスをもって、すごく良い経験ができました。それに、海外研修して来た人たちが全校生徒の前でプレゼンして、日本で学べない情報を共有できる機会も作れるしね。

門脇:僕は、やっぱり部活動ですね。個人的には、野球部の部長という重要な役割をうけて、人間として本当に成長できました。西高は、部活動に所属している人が多いし、熱心に活動している部が多い。高体連前になると、みんな目の色を変えて練習に打ち込んで。全道大会だけでなく、全国大会に出場している部もあるし。「西高」という勉強に追われる環境の中で、勉強と両立させながらも、部活動に一生懸命取り組む姿勢は、素晴らしいと思うし、それをやり遂げようとする雰囲気があるのが西高の良さだと感じるな。

紙谷:私は、「西高はこうあってほしい」という理想を、それぞれの生徒が持ってくれているのが、西高の良さだと思うようになりました。生徒会の活動に対して、「他人事」と思わずにいてくれるし、より良いものにしていこうとしてくれるんです。

大谷:そう言えば、今年の生徒大会はすごかったよね。その場で質問も沢山出た。あの、自由に発言できる雰囲気も西高らしいよね。

紙谷:西高は、バラエティに富んだ競技がたくさんある運動会とか、その前日にみんなの前で告白するお弁当スペシャルとか、他の高校の人たちにうらやましがられる行事がたくさんあるけど、それは生徒たちが主体的に生徒会とかかわってくれるから成り立っている気がします。

土屋:西高って、色んな分野で「すごい」という人が多いですね。だから個性の強い人もたくさんいる。でも、それをお互いが受け入れて尊重しあって生活しているんですよ。だからこそ、みんながそれぞれの場面で成長していけるんだと思う

んです。海外研修も部活動も生徒会も行事も勉強も、全てがお互いを尊重し合う雰囲気があるからこそ、いいものになっているのじゃないかな、と。そして、それが西高の良さなんじゃないかなって思います。

門脇:あと、みんな根が真面目で、常識を持って行動できるから、「自由」でも変なことには絶対ならないって感じがする。

土屋:そうそう。みんなが常識のラインをちゃんとわきまえている。だから、思い上がることもないし、チームワークがいいよね。

大谷:個性を尊重しあっているからこそ、個性が出せる。それぞれがしっかりしているから「自由」でいられる。それが西高の良いところかな。

## 勉強については どうですか？

大谷:友達同士、わからないところを教え合っている習慣がすごく素敵だと思うな。わからないところを聞いたら、わかりやすく教えてくれるんだよね。自分の身近なところに先生が沢山いるって感じ。友達に教えてもらってわかるようになって、友達に教えることで理解を深めるといい。友達に助けられている部分はすごくあるな。

土屋:私は、中学校の頃、勉強に対して受け身だったんですよ。でも西高に入学してみると、周りの人はみんなちゃんと目標を持っていて「学びたい」という気持ちで勉強していたんです。中学校の頃と比べて、勉強の質も量も変わったけど、勉強に向かう姿勢も中学校とはぜんぜん違うと感じました。今も、周りの人の勉強に対する姿勢には刺激を受けています。

門脇:う〜ん、僕は野球部で…。部活動が終わって家に着いて、自主練やったら平気で10時過ぎになって、疲れて…。次の日また朝早く練習に来て……。あれ？勉強してないや(笑)。…というのが1年の頃でした。だからこそ、授業に集中、というのすごく意識していますね。西高は授業のレベルが高いから、何とかついていこうと思って、授業勝負でやっています。スキ間時間も合計すればそれなりの時間になるし、毎日続ければかなりの時間になるので、有効だよな。

紙谷:運動部の方々は本当に勉強する時間が少ないですよ。けど、そんな友達が、「今日必ずこれはやるリスト」を付箋やメモ帳に書いて、授業の前とかスキマ時間を使い勉強してたんですよ。西高は小テストが多いし、レベルも高いから勉強はやっぱり大変。でも、勉強せざるを

得ない雰囲気になっているから、みんな、時間の使い方や勉強のやり方を工夫して、刺激し合って、頑張っているとします。

## 西高を目指す人たちへ

大谷:さっきも言ったけど、国際交流に興味ある人には是非来てもらいたい。僕は2回チャンスをもらって、全く対照的な国を見てきて、世界観が変わったと思う。高校でこんなすごい体験ができると思ってなかった。絶対、自分に合ったプログラムがあると思うし、みなさんにも経験してもらいたいですね。



大谷 舜君

土屋:私は「学区外」からの受験だったし、入学できても一人で生活すると思うと、不安でした。でも、学校見学会に来て、西高の開放感あるアトリウムと雰囲気に憧れて、「絶対に入りたい!」と思って頑張ったんです。「西高なんて、私には無理!」と思ってしまうことがあるかもしれないけど、「受かってやろう!」という強い気持ちで頑張った方が絶対によいと思います。

紙谷:私は中学1年生のときに西高の学祭に来て、その思い出が忘れられませんでした。他の高校の学祭も行ったけど、一番、楽しそうでキラキラしていて…そんな姿に憧れて西高に行くことを決めました。中学3年のときは、勉強でくじけて、「もういいや」って思ったこともあったけど、自分が西高生になったときのことを想像したら居ても立ってもいられなくなって。最後まで諦めずに頑張ってよかったと今も思っています。

門脇:そうなんです。西高はどんな学校だろうと、期待して見ていると思うんですけど、実はそれよりも、入学して実際に西高生活を体験すると、何倍も素晴らしいんです!先輩の雰囲気とか、仲間の雰囲気とか。まさに「ワクワクを超える」場所です。

全員:受験生のみなさん、ぜひ、西高へ!



紙谷 咲彩さん



土屋 花さん

